

私立 千葉商科大学附属高等学校 シラバス

英語科「英語コミュニケーションⅢ（３年普通科特進選抜コース）」	単位数	４単位	学科	普通科
	学年	３年	組	G組

１ 学習の目標，評価の観点，内容及び評価方法

学習の目標	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱで身につけた語彙力・文構造を把握する力・読解スキルを活用し，４技能を向上させるとともに，入試に向けた実践力を養う。
-------	---

育成する資質能力	「向上心」・「思考力」・「判断力」・「表現力」
学校ルーブリック項目	「向上心」「自律」「自己肯定感」「友愛」「創造性」「社会貢献」「思考力」「判断力」「表現力」「人間関係力」

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	「読む」「聞く」の形で語彙・文法の知識を活用し，実践問題に対応できているか。	既習の語彙・文法・背景知識を入試対応レベルの演習で用いて，考えをまとめたり表現できているか。	授業に能動的に取り組んでいるか 出された課題や自主課題にしっかりと取り組んでいるか。
評価方法	・定期考査約９０％ ・全校一斉英単語テスト約１０％	・定期考査約７０％ ・授業時課題約３０％	・課題提出 ・授業参加姿勢
配分	約５０％	約４０％	約１０％

２ 学習計画・使用教材

学期	学習内容	学習のねらい	備考（特記事項，他教科との関連など）
第１学期	Lesson 1 Energy	〈聞くこと〉 バイオ燃料の種類についての説明を聞き取ります。 〈読むこと〉 Numbers Don't Lie を読んで，グラフなどを参考にしながら概要や詳細を理解したり，情報を事実と意見に整理したりします。 〈話すこと[発表]〉 交通機関ごとのエネルギー消費量の違いについての論説文を読み，その内容についてリテリングを行います。 〈話すこと[やり取り]〉 発電方法のそれぞれのメリットとデメリットについてペアで話し合い，各国の温暖化を止める取り組みについてグループで話し合います。	中間考査 期末考査 全校一斉英単語テスト ネイティブ教員との授業あり

	Lesson 2 Environment and Life 1 レッスン毎に副教材に掲載されている読解問題を1～2本学習する。	〈書くこと〉 温室効果ガスに関するグラフを読み取り、二酸化炭素排出量を削減する方法について自分の考えを書きます。 〈聞くこと〉 イギリスの電球の規格についてのニュースを聞き取ります。 〈読むこと〉 Environment or Orangutans?を読んで、グラフなどを参考にしながら概要や詳細を理解したり、情報を事実と意見に整理したりします。 〈話すこと[発表]〉 バイオ燃料のメリットとデメリットについての論説文を読み、その内容についてリテリングを行います。 〈書くこと〉 環境に関するSDGsへの興味の度合いを表すグラフの特徴を読み取り、SDGsを促進する方法について自分の考えを書きます。	
第 2 学 期	Lesson 3 Health and Life	〈聞くこと〉 弱冷房車についてのアナウンスを聞き取ります。 〈読むこと〉 睡眠不足によって引き起こされる健康被害についての2つのパッセージを読み比べて、概要や詳細を理解したり、書き手の主張や目的を判断したりします。 〈話すこと[発表]〉 睡眠不足によって引き起こされる健康被害についての2つのパッセージを読み、その内容についてリテリングを行います。 〈話すこと[やり取り]〉 日本人の睡眠時間の現状とその理由、SDGsとの関連についてペアで話し合います。 〈書くこと〉 健康のためにすべきこと・すべきでないことについての話し合いをもと	中間考査 期末考査 全校一斉英単語テスト ネイティブ教員との授業あり

	Lesson 5 Diversity	に、どのように健康的な生活を送るかについて自分の考えを書きます。 〈聞くこと〉 多様性についての講演を聞き取ります。 〈読むこと〉 Emoji—The Language of the Online World を読んで、概要や詳細を理解したり、情報を事実と意見に整理したりします。 〈話すこと[発表]〉 Emoji—The Language of the Online World を読み、その内容についてリテリングを行います。 〈話すこと[やり取り]〉 イラストが表す内容や、性差による家事労働時間の違いとその理由について、ペアで話し合います。〈書くこと〉 講演の案内を読んで、多様性を尊重する社会にするために、どちらの講演内容がより役立つかについて自分の考えを書きます。 1 レッスン毎に副教材に掲載されている読解問題を1～2本学習する。	
第3学期	なし	なし	なし

使用教科書	啓林館『ELEMENT English Communication Ⅲ』
副教材	・駿台文庫『システム英単語＋CD』 ・数研出版『Make Your Ascent to Better English Reading』 ・いっずな書店『Evergreen』 ・リクルート『スタディサプリ ENGLISH』

3 担当者からのメッセージ

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	・1, 2 年次同様予習・授業・復習のサイクルをしっかりと確立させましょう。3つのステップを1つ1つ確実に踏むことが定着のカギになります。 ・反復練習を根気強く何度も行いましょう。英語という言語の習得には「読む」「書く」「聞く」「話す」といろいろな形で触れることが不可欠です。 ・教科書を使った勉強だけにとらわれず、様々なことに興味・関心を持ち、日頃から広くアンテナを張って下さい。「知りたい」「理解したい」「できるようになりたい」という気持ちを大切にしてほしいと思います。
---------------------	--

授業を受けるに当たって守ってほしい事項	・ 予習をした状態で授業を受けて下さい。ただ機械的に座って授業を「聞く」のではなく、予習をして疑問に思ったところや分からないところ、関心を持ったことを「聴く」姿勢で授業に臨んでください。予習をしたことが合っているかを授業で「確認」しましょう。 ・ 積極的な質問は大歓迎ですが、まずは自分で考えることも大切です。「聞けばいいや」の姿勢では自分で考える力は育ちません。参考書等を駆使し、自分で疑問の答えを見つける意識を持ち続けましょう。 ・ 辞書を必ず持参して下さい。できれば紙の辞書がベターです。また、授業で必ず使う教材も毎回忘れずに準備をしてきましょう。
その他のアドバイス	・ 「英語を学ぶ」ことだけに重きを置くのではなく、「英語から学ぶ」ことも増やしてください。もちろんそこでは英語以外の教科（理科や社会）の知識が必要になる場合があります。教科を横断したダイナミックな学習ができることが英語の「楽しさ」の1つです。1年間の授業を通してその「楽しさ」を存分に味わってほしいと思っています。教科書にある単語や文法、文型をただ追いかけるのではなく、内容に触れ、社会問題について考えたりと、一歩踏み込んだ学習をしていきます。 ・ 受験勉強は特別なことをするものではありません。入試に向けた実践演習をしながらも、基礎・基本に立ち返る姿勢は常に持っておきましょう。